

ご挨拶

新年おめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良いお年をお迎えのことと存じ上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の大学入学共通テストが終わりましたが、高校生は3年間をコロナ禍で過ごすこととなってしまいました。受験生の皆さんの夢が叶うことを心からお祈りいたします。

学校ではコロナ禍の始まりと新学習指導要領の実施時期が重なり、現場の先生方はさぞご苦労されたことと思います。新学習指導要領ではICTを活用した学習活動の充実も求められ、各

教科で工夫されていらっしゃると思います。今回は、昨年末NHKのTV番組「おはよう日本」で紹介されました体育におけるICT活用を紹介していただきます。



例年ですと春分の日以降に富士山に鳥の形をした雪形が現れ、これが田植えの目安とされているそうですが、今年になって暖かい日があり、既に現れたとのニュースがありました。しかし、これからまた寒くなるとの予報もあります。コロナ感染症も終息していませんので、どうぞご健康には十分ご留意下さい。

辟雍会会長 長谷川 正

体育×ICTがもたらす

個別最適化された協働的な体育の学び

体育では運動することが主たる活動になります。それ故に体育でICTを活用することに消極的な先生も少なくないと思います。しかし、2021年度からGIGAスクール構想が本格的に始動し、一人一台端末環境下での教育が実施されるようになり、体育でもICT活用が注目されるようになりました。これまで体育は学習成果がパフォーマンスとして表象される一方で、その成果を記録に残しにくく、その為、学習者の振り返りが主観的になりやすく、教師や周囲に「教えられる」学びになりがちであったといえます。しかし、ICTを活用することで、子供の学びを前進させることのできる情報提示と情報処理ができるようになり、一人一人に最適かつ協働的な主体的に自らが「探求する」学びを生み出すことが可能になりました。

私たちは、GIGAスクール構想が始まる以前から、長年に渡って体育でのICT活用の研究に取り組み、最先端技術を活用した授業実践に取り組みで来ました。現代の教育におけるニーズからか、そのような私たちの取り組みに注目して頂く機会も増え、最近では、読売新聞（2022年10月）、NHK「おはよう日本」（11月）、NHK鹿児島ニュース（12月）で私たちの「体育×ICT」の取り組みを取り上げて頂き、TBS「まるっと！！サタデー」でも予定されています（1月28日放送予定）。

私たちが現在実践している主な取り組みは、①同期型遠隔体育、②非同期型遠隔体育、③人工知能を活用したフィードバック④VRコンテンツの活用、⑤メタバース空間での体育、⑥メタバース空間での教員研修、⑦ARスポーツ、⑧AR作戦盤の活用、⑨デジタル教科書の活用、⑩メディアポートフォリオの活用、⑪ドローン、ハートレートモニターなど可視化技術の活用などです。企業と学校教員と研究者とでチームを作って実践研究に取り組んでおります。

例えば、ハートレートモニターは心拍数を可視化し、ドローンでの映像は人間が把握しにくい空間配置を提示し、コミュニ

ケーション分析ツールは対話の行なわれ方を客観的に示してくれます。このことにより、学習成果を適切に把握し、学びを進めることが可能になります。また、ネットワークに接続した一人一台端末は多様な協働学習を可能にし、オンライン上で国内外の様々な他者との様々な協働を可能にします。ICT技術の発展は学びを支える他者とのかかわりを広げ、その形態を多様にしました。その結果、私たちはこれまでは実現できなかった学び合いの共同体を授業という場に生み出すことができるようになりました。さらに、ICTは仮想空間と現実空間を往還させて現実空間での学びをより深淵なものにすることも可能にしました。例えば、仮想空間上で運動を仮想体験したり、メタバース上で遠隔にいる仲間と共に学び深めることができるようになりました。このように体育では、校庭、体育館、プールなどの現実空間に加えて、仮想空間でも学びのプラットフォームを創り出すことができました。



私たちはICTを体育に導入する以前から、学習者が主体的に学びを創り出していく体育を目指して研究に取り組んできました。しかし、教師が学習者に「運動させる」という受動的な学びから抜け出せずにいる授業もありました。その壁を乗り越えることを支援してくれたのがICTです。ICTというツールは、学習者自身が自ら学び深めることのできる適切な情報を提供してくれます。すなわち、ICTの発展により、私たちは「個別最適化された協働的な学び」を実現するためのコミュニケーションを手に入れることができたのです。

私たちの取り組みに興味のある方がおりましたら、ぜひ一緒に実践研究に取り組みましょう！！ご連絡をお待ちしております（体育ICT研究会：ict.pe.sport@gmail.com）。

体育科教育分野准教授 鈴木 直樹



ドローンからの映像

News

リエゾンオフィス募集開始

既設の教室・学科・研究室等の同窓会、サークル・同好会・クラス会等の団体や新規に設立される団体と連携して、辟雍会情報を多くの会員の方々にお届けし、本会と会員の方々との連携を密にするためのバーチャルな組織であるリエゾンオフィスの募集を開始しました。既に、5団体が登録してくださいました。リエゾンオフィスの登録は、本会ホームページ（<https://www.hekiyou.com>）から行うことができます。

大学入学共通テスト無事終了

とができました。

大学入学共通テストが1月14・15日の両日実施されました。東京学芸大学会場では、約2300名が受験し、コロナ感染防止策を徹底し、大きなトラブルなく終えるこ